

あす開幕 準備着々



第80回国民スポーツ大会「青の煌めきあおもり国スポ」冬季大会スケート、アイスホッケー競技会は31日、八戸市と三沢市で開幕する。各会場で準備が着々と進み、全国の選手も続々と現地入りするなど本番ムードが高まっている。

【12日に関連記事】

青森県内での同競技会の開催は2023年の特別国体以来で、国内最多となる15回目。10月の本大会と合わせた完全開催は1977年の「あすなる国体」以来49年ぶり、今大会はその幕開けに位置付けられる。大会には42都道府県から選手、役員ら約2300人

が参加。「翔ける未来へ縄文の風に乗って」をスローガンに、2月8日までの9日間、スピードスケート、フィギュア、ショートトラック、アイスホッケーの4競技で熱戦を繰り広げる。

開始式会場となる「SG GROUP ホールはちのへ（八戸市公会堂）」では29日、市内の高校生によ

る吹奏楽と合唱の音楽隊が練習。式典で披露する楽曲を合わせながら、音量や演奏位置などを確認した。

トランペットを担当する成田侑愛さん（八戸北高2年）は「式を盛り上げられるように、いい音楽を披露したい」、クラリネットの亀井華望さん（八戸学院光星高2年）は「全国から集まる選手に勇気を与える演奏をする」と意気込み。

合唱の上田莉帆さん（八戸東高2年）は「吹奏楽と心一つに、選手の活躍につながるような歌声を届けたい」と力を込めた。

（小嶋嘉文）